

[標準様式例 4-3]

随意契約結果及び契約の内容

| | |
|------------------------------|---|
| 業 務 の 名 称 | 仙台港湾空港技術調査事務所庁舎原状回復工事 |
| 業 務 概 要 | 仙台港湾空港技術調査事務所の庁舎を原状に回復するものである。 |
| 契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地 | 分任支出負担行為担当官 仙台港湾空港技術調査事務所長 渋谷 賢治 宮城県仙台市宮城野区榴岡5-1-35 |
| 契 約 年 月 日 | 令和3年9月1日 |
| 契 約 業 者 名 | 株式会社ビルドプロ |
| 契 約 業 者 の 住 所 | 東京都葛飾区新小岩4-44-16 |
| 契 約 金 額 | 12,210,000 円(税込) |
| 予 定 価 格 | 12,210,000 円(税込) |
| 随意契約によることとした理由 | 別紙のとおり |
| 業 種 区 分 | 建築一式工事 |
| 履 行 期 間 (自) | 令和3年9月1日 |
| 履 行 期 間 (至) | 令和4年1月31日 |
| 備 考 | |

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

令和3年度

随意契約理由書

1. 件 名 仙台港湾空港技術調査事務所庁舎原状回復工事

2. 随意契約の相手方 株式会社ビルドプロ

3. 随意契約の理由等

本件は、仙台港湾空港技術調査事務所（以下、「当事務所」という。）が行政事務を遂行するための庁舎として借上している物件（以下、「当該物件」という。）を原状に回復するものである。

当該物件は、平成13年1月6日に当事務所が発足して以来、行政事務を遂行するために適した国有施設が仙台市内に他にないことから、継続して借上してきたものである。

今般、仙台法務第二合同庁舎へ入居が可能となり、移転する運びとなったことから、当該物件の借上契約を終了し、賃貸人へ明け渡すこととなった。

当該物件の明け渡しにあたっては、賃貸借契約書第16条第3項に基づき、賃貸人が原状回復工事を実施し、その費用は賃借人が負担しなければならない。

また、原状回復工事は、賃貸人の代理人である株式会社ビルドプロが実施することとなっている。

以上のことから、株式会社ビルドプロと会計法第29条の3第4項により随意契約するものである。